

千葉県知事 森田 健作 様

令和元年 6 月 12 日
日本生命保険相互会社
千葉支社長
小屋松 徹也

平成 3 0 年度活動状況報告書

平成 3 0 年度の当社取組につきまして、以下の通りご報告いたします。

1. 高齢者の見守り

千葉県内 2 支社管内（千葉支社・船橋支社）の 3 3 拠点、1 1 0 0 名の営業職員が、日々の営業活動・ご契約内容確認活動等で高齢者と接する際、積極的に高齢者へお声掛けを行うように指示を行い、高齢者見守り活動に取り組みました。

又、弊社 O B 組織である「喜楽会」の総会においても、高齢者の見守り活動に取り組んでいることを伝え、高齢者への声掛けに取り組みました。

2. 「ちば S S K プロジェクト」の普及・啓発

協定締結店ステッカーを、県内ライフプラザ等に掲示しました。

「ちば S S K プロジェクト」のチラシを営業活動時に配布、お客様との会話でも積極的にお知らせしました。

3. 認知症対策

当社職員が、積極的に認知症サポーター養成講座の受講を行いました。

平成 3 0 年度末の認知症サポーター養成数は、以下の通りです。

- ・千葉支社 2 9 名
- ・船橋支社 2 3 名

4. 高齢者の生きがい、健康、仲間づくり

がん検診の受診をおすすめするチラシや、その他健康情報をお知らせするチラシを営業活動時に配布し、健康診断やがん検診の受診啓発に取り組みました。

5. 高齢者の安心・安全

生命保険協会を通じ送付される特殊詐欺防止に関するチラシを、営業活動時に配布し、特殊詐欺の注意喚起に取り組みました。